

令和6年度事業所防災リーダー優良企業に認定された4社に学ぶ

従業員や利用客を守るための 防災の取り組み

「事業所防災リーダー」はまさに防災の旗振り役。いざというときのための避難訓練や、「帰宅困難者」を作らないための準備や備蓄、また日頃から防災や減災のための情報収集を心がけて、事業所をできるだけ安全な避難場所にするための工夫を重ねている。その取り組みを1社ずつ紹介する。

滞在訓練では15人の従業員が 実際に本社棟に宿泊

私たちがリスク災害対策チームに着任したときは、ちょうど世間がコロナ禍から元に戻っていくタイミングだったので、止まっていた防災活動も復活させていかなければなりませんでした。しかし、異動して間もない私たちは防災に関しては知識も経験もない、まさに防災1年生の状態。それでどのように学び、情報収集をしていこうかと悩んでいた時に、ちょうどリスク対策.comのメルマガで「東京都事業所防災リーダー」を知り、**防災情報がワンストップで得られることに魅力を感じて即座に登録しました。**

本社は当社最大の拠点なので、演習や訓練の企画は人事総務部と協力して進めていきました。まずは当社にある従来のツールやマニュアルの問題点を一つひとつ抽出し、改善していくことが不可欠だと考え、発災から徒歩移動までのフェーズを細かく



実際に会社に寝泊まりしたらどうなるのか？巨大地震による従業員の帰宅抑制を想定した滞在訓練で、帰宅抑制行動の課題を洗い出している様子。

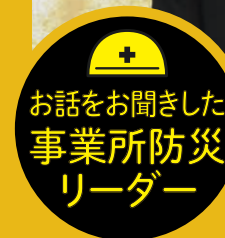
分けて演習や訓練を実施し、議論を深めていきました。さらに、活動には担当役員の参加を仰ぎ、終了後に担当役員のコメント付きのレポートを社内のイントラネットに掲載することで社内への情報発信を強化。担当役員を巻き込むことで、防災活動の認知度の向上だけでなく、現場と経営層の防災に対する認識のギャップを埋めることにもつながりました。

東京都事業所防災リーダー優良企業

＜大規模事業所部門＞

サッポロビール株式会社

約1000名の従業員を守るため、ガバナンスグループのリスク災害対策チームが防災を担当。事業所防災リーダーは3名が登録。体験型訓練を企画し、上層部の協力を得ながら社内の防災意識向上に努めている。



経営企画部ガバナンスグループ

アシスタントマネージャー

グループリーダー

リーダー

寺井朗人さん 原島英滋さん 入澤英雄さん



誰でも初動対応できる First Mission Box®

消防署の協力を得た避難訓練や、帰宅抑制を想定して本社棟に宿泊する滞在演習、帰宅抑制解除演習、徒歩移動演習などを実施していく中で、リアリティーのある、多くの問題点が浮き彫りになりました。その中で滞在演習での経験を踏まえて作成したのがFirst Mission Box®（ファーストミッションボックス）です。**これは発災時に私たち事業所防災リーダーが集まれなくても、本社棟に駆けつけた人がこのボックスの中にあるA4サイズの指示カードを見れば、迅速かつ確実に初動のオペレーションを実行できるようにするもの。**「シンプルで分かりやすいツールができたので安心感がある」と役員や社員からは好評ですが、ここからが本番。First Mission Box®を使用した演習を推し進め、発災時の混乱が最小限ですむよう、さらにブラッシュアップしていく予定です。

企業の防災担当者はジョブローテーションによって数年で異動することもあるので、外部からいかに有益な情報を入手できるかが継続のカギに。事業所防災リーダーとして得られるタイムリーな公式情報や他社の取り組み事例などは大変参考になるので、それらを活かしながら今後も防災対策を強化していきます。



First Mission Box®は、元々は長野県飯田市と危機管理研究所が開発した災害時の組織運営ツールで、避難所等でも使用されている。それを参考にサッポロビール版を作成。誰が見ても一目で認識できるよう役割ごとに配色を工夫し、手順を簡潔に記載している。